

# 暑中お見舞い申し上げます



公職選挙法により、議員の寄付行為や時候の挨拶状などは禁止されております。  
本紙上をもって、ご挨拶とさせていただきます。



## 編集後記

震災と原発事故から6年4カ月が過ぎました。復旧・復興も進み、仮設住宅の使用期間も終了したため、帰町すべき人は戻ってきたのでしょいか、買い物などで久しぶりにお逢いする方々が多くなりました。

事故後の、それぞれの生活の苦勞の中、希望を捨てずに元気にいて下さったと思うと、懐かしさ、そして安堵感を覚えます。

それにしても、最近の日本列島はどうなっているのでしょうか。

異常気象のせい、地震、火災、水害の発生が続いていると思えますが、映像を見るにつけ、自分達の体験と重ねて胸が痛む一方、何とか頑張つてほしいと祈るのみです。

私達も、放射能の不安は今後も消えることはありませんが、よく言われる「安全と安心」、安全は数字で表せませんが、安

心は心の問題なので、それぞれの考え方や考えます。

しかし、過去にしばらく、前向きに考え、私達の町を後世に残していかなければと強く思っています。

(塩 史子)



発行・編集責任者

議長 黒田政徳

広報委員会

委員長 塩 史子

副委員長 阿部憲一

委員 北郷幹夫

委員 小磯利雄

委員 遠藤 浩

次の定例会は9月です